



ふれあい



探究のシンボル「マロンストーン」

呉市立広南中学校

〒737-0136 呉市広長浜四丁目1番9号

Tel 0823-71-7920 Fax 0823-74-3502

E-mail hirmc@kure-city.jp

http://www.kure-city.jp/~hirmc/

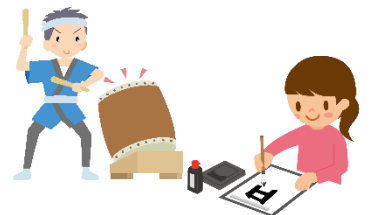


校訓「不かく尋ね たかく志す」

学園教育目標「未来を創る」

「6・9交流(太鼓の指導)」 「5・9交流(匠の指導)」

10月13日(金), 小坪神楽の太鼓を継承しようと, 9年生が広南小6年生へ太鼓の指導をしました。また, 10月19日(木), 地域の匠の先生から学んだ「箏・尺八・書道・着付け」の魅力を9年生が5年生へ伝えました。



いじめ撲滅キャンペーン ～あいさつ運動 標語表彰～

「いじめ撲滅挨拶運動」「いじめ撲滅標語表彰」を実施しました。挨拶運動は1回目を6月に, 2回目を10月に行い, 小中学生が一緒になって, 「いじめゼロ」の旗の下, さわやかに挨拶をしました。また, 6月に全生徒から募集した標語では次の作品が表彰されました。



【優秀賞】2年 熊原陽樹「大丈夫? 君のなやみは 僕のなやみ」

3年 大橋琴子「さしのべて 心を救う その言葉」

【最優秀作品】1年 河本悠里

「いじめの雨 あびれば心も かぜを引く」



1年生 落語を披露 地域(ふれあいサロン)・広南小学校へ

10月20日(金)ふれあいサロン小坪(小坪自治会館), 10月23日(月)ふれあいサロン長浜(広南中図書室), 10月31日(火)広南小で, それぞれ1年生が落語を披露し, 地域の皆様や小学生にたくさん笑っていただくことができました。

広南小学校



ふれあいサロン小坪



ふれあいサロン長浜



【生徒の感想より】小学生に, 「中学校の落語はやってみると楽しいということ」「落語はこれからの人生で役に立つということ」「感謝の気持ちを込められるということ」を伝えることができたと思う。「ハッピー小坪」で落語を披露する際は, 今回よりも上手く, 見ている人に感謝の気持ちを込めて演じられるようにしたいです。役になりきれるようにしたいです。

【スクールカウンセラー来校日】

今年度は, 残り7日間です。どうぞお気軽にお問合せください。

12/7(木) 12/14(木) 12/20(水) 1/11(木) 1/18(木)

2/8(木) 2/22(木)



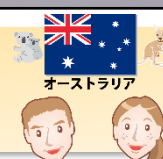
「花の栽培実習」～ゲストティーチャーをお迎えして～ 「サツマイモの栽培実習」

2年生の技術科の活動として、10月27日(金), ゲストティーチャーを招いて、「花の栽培実習」を行いました。また、10月31日(火), 6月に植えた「サツマイモの収穫」をしました。



【生徒の感想より】「花の栽培実習」は、今まで知らなかった水やりの方法や、緑(植物)が人に与える効果について学びながら、自分が選んだガーベラとローズマリーを植えるのが楽しかったです。植え方のコツも教えていただき、とても勉強になりました。「サツマイモの栽培実習」は、みんなで植えたことや、「早く成長しないかな」「できたらどんな料理にしようかな」と考えながら、水やりをしたことが楽しかったです。

ようこそ先輩！『戦争花嫁 オーストラリアと呉とを結ぶ歴史と未来 ～久保田満里子先生の生き方、活動に学ぶ～』



11月1日(水), 広島出身でメルボルン大学で長年教鞭をとられた久保田満里子先生の講演会を開催しました。本校元校長の若本正先生からのお話, 朗読, クイズコーナー, 久保田先生の生き方や執筆活動についてお聞きする質問タイムという内容で, 話題が広がり, とても有意義な時間でした。当時進駐軍で働かれていたという方や, 従妹が戦争花嫁だったという方等, 学校外からも関心を持たれた多くの方々が講演会に参会されました。



【生徒の感想より】オーストラリアに渡り日本語教師をすることは大変だったと思いますが, 挑戦し続けた久保田先生だからできたことだと思います。私も, 自分のやりたいことをまっすぐやり続けられる人になりたいです。両国の歴史についてクイズ形式で出題していただき, 楽しく学べました。白豪主義や第二次世界大戦で敵国になったことで関係が悪化した中でも, たくさんの日本女性とオーストラリア男性が恋をして, 自分の愛を貫いた戦争花嫁について小説にすることで, 戦争や対立の残酷さを考えさせられました。私は, 戦争について自分にできることはほとんどないと思っていましたが, 久保田先生のように, 執筆や取材などいろんな方法で行動ができることを知り, 自分にできる「挑戦」をしてみたいと思いました。



「避難訓練」 「NHK 岡崎太希アナウンサーとともに考える防災授業」

11月2日(木), 地震・津波を想定した避難訓練を実施しました。「突然揺れた時, 自分の命をどうやって守るか」を訓練した後, 地域の防災リーダーの石田さん・三島さんが「被害の状況によっては避難場所も変わることがある」等をお話してくださいました。その後, 体育館でNHKの岡崎太希アナウンサーによる防災授業を行いました。

【生徒の感想より】訓練の時の自分の様子は・・・教室の中で, 近くにあった机の下にかくれ, 頭や身体を守りました。もっと机をおさえたりした方が良かったと思います。

岡崎アナウンサーのお話を聞いて・・・伝え方によって, 人々は避難したりしなかったり, 言い方にも人を避難させる工夫があると感じた。アナウンサーは, 原稿に書いてある内容以外に, アドリブを入れていることにびっくりしました。

家族で話し合ってみて・・・「今住んでいるところは, 海が遠いので津波はないけど, 山がとても近いので大雨の時はすぐに近くの三坂地小学校に避難しないといけない」といったような, 災害発生時の対策の話になりました。

